



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	サハリン樺太史研究会10周年シンポジウム「世界におけるサハリン樺太史研究」
Citation	北方人文研究, 13, 59-60
Issue Date	2020-03-25
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/77243
Type	editorial
File Information	13_05_Report.pdf



[研究会報告]

サハリン樺太史研究会 10 周年シンポジウム 「世界におけるサハリン樺太史研究」

2008 年に発足したサハリン樺太史研究会は、2018 年に 10 周年を迎え、その記念行事として、「サハリン樺太史研究会 10 周年シンポジウム 世界におけるサハリン樺太史研究」を 2018 年 12 月 1 日に北海道大学人文社会科学総合教育研究棟にて開催し、海外からの研究者も招いて日本語圏、ロシア語圏、英語圏、韓国語圏、中国語圏それぞれでのサハリン樺太史研究の動向を確認し合うことを試みた。

以下に収録されている各論考は、シンポジウムで報告された世界におけるサハリン樺太史研究の動向に関する知見を広く共有するために当日の各報告を基に加筆修正を加え活字化したものである。

なお、当日のシンポジウムの概要は以下の通りである。以下では、各報告者の所属はシンポジウム当時のものであるが、各論考では現在の所属が記されており一部の報告者では両者に相違があること、および報告と論考の題にも相違があることをあらかじめ断っておく。(中山大将)

サハリン樺太史研究会 10 周年シンポジウム「世界におけるサハリン樺太史研究」

日 時：2018 年 12 月 1 日(土) 10:00～17:30

会 場：北海道大学人文社会科学総合教育研究棟 2 階 W 202 室

報告者：

東俊佑（北海道博物館）

「日本における前近代サハリン・樺太史研究の動向：1264-1867」

竹野学（北海商科大学）

「日本における近代サハリン・樺太史研究の動向 その 1」

池田裕子（東海大学札幌キャンパス）

「日本における近代サハリン・樺太史研究の動向 その 2」

ユリア・ディン（サハリン州郷土博物館）

《Основные направления изучения истории Сахалина и Курильских островов в России в постсоветский период》

（ポストソ連期ロシアにおけるサハリンおよびクリルの主要な歴史研究）

韓恵仁（成均館大学校）

「韓国におけるサハリン関連調査及び研究動向」

ジョナサン・ブル（北海道大学）

“Recent work in the English language historiography of Sakhalin/Karafuto”

中山大将（京都大学）

「中国語圏におけるサハリン樺太史研究：庫頁島中国固有領土論・山丹貿易・日本帝国植民地」

中山大將（京都大学）

「サハリン/樺太史研究 DB（データベース）について：個人作成資料目録の統合と活用」

共 催：

科学研究費補助金基盤研究（A）「日ソ戦争および戦後の引揚・抑留に関する総合的研究」

学術研究助成基金助成金（挑戦的萌芽研究）「境界地域史への地域情報学活用：サハリン島

ミクロ歴史情報データベースの構築と応用」